

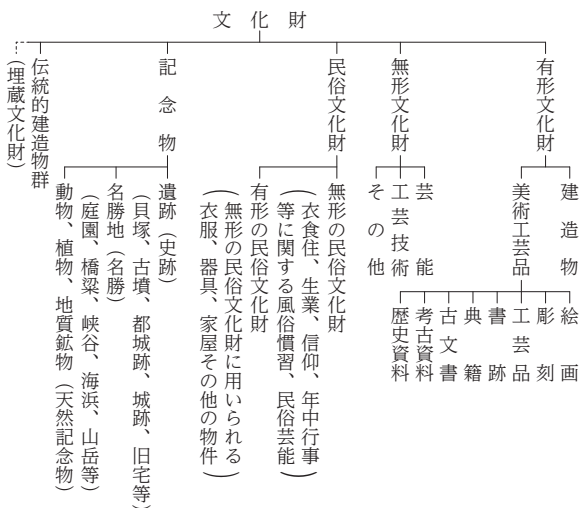
## 文化財について

**文化財** 人類が長い世代交代のうちに生み出し、継承してきた生活や芸術上の有形・無形の遺産、学術的に貴重な生物、生物以外のもの及び景観のすぐれた地形などを総称して文化財といえます。

文化財は、わが国及び国民の歴史や文化の正しい理解に欠くことのできないものであるとともに将来の生活、文化の向上発展の源となるものであります。個々の文化財が私有されているものであっても、その価値は公共性を持っており、国民が共有する大切な財産として理解され保護されなければなりません。

**保護と活用** 文化財を十分な管理のもとで保護活用し、長く後世に伝えることは、現代に生きる私たちの義務といえます。保護の方法としては、国・県・市町村がそれぞれ文化財を指定し、保存修理工事や整備などに補助をするとともに、所有者が変更になったり現在の状態を変更するような場合に届出や許可を得ることを義務づけて保護の万全を期しています。また、その活用については、博物館や資料館での展示や建物などの公開、あるいは公園としての一般開放のほか、出版物として広く一般に紹介していくなどがあります。

**文化財の種類** 文化財を「文化財保護法」によって分類すれば、次のようになります。



**有形文化財** 建造物、絵画、彫刻などの有形の文化的所産で、歴史上又は芸術上価値の高いもの（これらのものと一体をなしてその価値を形成しているもの、たとえば建造物の建っている土地などを含む）並びに考古資料、その他の学術上価値の高い歴史資料などです。

**無形文化財** 演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で、歴史上又は芸術上価値の高いものを指します。無形文化財はいわば「わざ」であり、それは人間によってあらわされるものですから、何らかの指定をするときは、その「わざ」の保持者または保持団体を必ず認定しなければなりません。

**民俗文化財** 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋等であって、一般民衆の生

活の推移の理解のため欠くことのできない有形、無形のもの指します。

**記念物** 貝塚、古墳、都城跡その他の遺跡で歴史上又は学術上価値の高いもの、庭園、橋梁、峡谷その他の名勝地で芸術上又は観賞上価値の高いもの並びに動物、植物及び地質鉱物で学術上価値の高いものを総称して、記念物といえます。

**伝統的建造物群** 周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群（町並み）で、価値の高いものを指します。

本市では、平成十六年度に中町地区を黒石市伝統的建造物群保存地区に指定しました。

**埋蔵文化財** 土地に埋蔵されている文化財を、埋蔵文化財といえます。このことは文化財の種類ではなく、文化財の存在する状態を意味します。土地に埋蔵されていることは、地下ばかりでなく、水底、海底その他土地の上下を問わず、人目に触れない状態において所在していることをいいます。遺跡はもちろん化石等の地質鉱物である記念物をも含むものと解されます。



## 市

民俗文化財	薬師寺の石敢當碑	1基	薬師寺	温湯字鶴泉12―4	昭和59・10・12
〃	赤坂の庚申塔	1基	赤坂町内	赤坂字東池田153	昭和59・10・12
〃	竹鼻の五庚申塔	1基	竹鼻敬神会	竹鼻字宮元35―2	昭和59・10・12
有形文化財	藩祖信英公書状	1通	黒石市	市ノ町11―1	昭和61・1・7
〃	日蓮聖人断簡	1通	妙経寺	京町字寺町12	昭和61・1・7
〃	藩祖信英公書状(二)	1通	黒石神社	市ノ町18	昭和61・8・7
民俗文化財	獅子が沢のしし石	2基	上十川財産区	上十川字長谷沢二番囲80―6	昭和62・1・10
天然記念物	袋のイチヨウ	1本	白山姫神社	袋字富山12―1	昭和63・3・4
民俗文化財	馬場尻の庚申塔	1基	馬場尻八幡宮	東馬場尻字馬場尻1	平成元・3・3
〃	竹鼻の廻国納経塔	1基	竹鼻敬神会	竹鼻字宮元35―2	平成元・3・3
〃	竹鼻の百観音碑	1基	竹鼻敬神会	竹鼻字宮元35―2	平成元・3・3
〃	法眼寺の砂踏之碑	1基	法眼寺	山形町82	平成元・3・3
天然記念物	村上家のイチイ	1本	個人	上十川字柳沢41	平成2・12・6
〃	木庵性瑠像	1幅	薬師寺	温湯字鶴泉12―4	平成4・3・6
有形文化財	隠元隆琦像	1幅	薬師寺	温湯字鶴泉12―4	平成4・3・6
〃	法眼寺開山堂	1棟	法眼寺	山形町82	平成4・7・7
〃	鳴海家住宅	1棟	個人	中町1―1	平成4・7・7
〃	剣	1振	法眼寺	山形町82	平成11・1・5
〃	御神刀	1振	黒石神社	市ノ町18	平成12・3・24
〃	釣燈籠	1対2基	黒石神社	市ノ町18	平成12・3・24
〃	石燈籠	2対4基	黒石神社	市ノ町18	平成12・3・24
天然記念物	サルスベリ	1本	感隨寺	京町字寺町15	平成13・12・6
〃	駕籠	1挺	法眼寺	山形町82	平成13・12・6
有形文化財	高田家の糸ヒバ	1本	個人	二双字字十川82	平成13・12・6
天然記念物	津軽信敏建立の石碑	1基	黒石神社	市ノ町20	平成17・3・14
有形文化財	藩祖信英公頌徳碑	1基	黒石神社	市ノ町20	平成17・3・14
〃	黒石神社の神門	1棟	黒石神社	市ノ町20	平成20・5・8
天然記念物	安入のハリギリ	1本	個人	高緒字乙高原18―2	平成29・4・26

## 黒石の文化財

初 版 平成4年10月1日発行

第9版 平成30年3月31日〈一部改正・改訂〉

編集・発行 黒石市教育委員会文化課  
黒石市大字内町24-1

印 刷 (株)津軽新報社  
黒石市大字前町48